

平成 28 年 4 月 19 日
九州地方整備局
21 時 30 分 現在整備局所有船により全国から緊急支援物資を搬入

～ 平成 28 年熊本地震に関する九州地方整備局の取り組み (第 21 報) ～

1. 概要

○整備局所有船により全国から緊急支援物資を搬入します。

○熊本港内では、九州地方整備局所有船「海輝」と「海煌」による飲料水の提供を行いました。

4月19日(火)16時時点の提供人数は約1,700人(37,800L)です。
明日、4月20日(水)も午前7時より継続して提供します。

2. 本部体制状況

- 災害対策本部 4月14日21時26分～ 非常体制継続中
- 災害等支援本部 4月17日 9時00分～ 非常体制

3. 災害支援等対応状況について

(1) リエゾン派遣状況<震度6強以上を中心>

・15市町村：33名(19日14時30分時点)【熊本県：3】、【熊本市：3】、【益城町：3】、【御船町：2】、【嘉島町：2】、
【西原村：2】、【大分県：3】、【大津町：2】、【菊池市：1】、【宇土市：3】、
【阿蘇市：2】、【高森町：2】、【菊陽町：1】、【南阿蘇村：2】、【甲佐町：2】
【産山村：4/18撤収】、【合志市・宇城市・日田市：4/17撤収】、
【和水市・八代市・大分市：4/16撤収】

(2) TEC-FORCE派遣対応状況

<TEC-FORCE 合計268人(これまでの最大)>

・TEC-FORCE 合計268人(九州117人、他地整151人)(19日14時30分時点)

【熊本県】道路被災等調査	2班10人
【熊本市】橋梁等点検調査	2班18人
【益城町】道路被災等調査	8班37人
【御船町】道路点検等調査終了	
【西原村】道路被災等調査	1班4人
【大津町】道路被災等調査	3班15人
【菊池市】道路被災等調査	1班4人
【阿蘇市】道路被災等調査	3班12人
【南阿蘇村】道路被災等調査、機械支援	6班14人
【宇土市】道路被災等調査	1班4人
【本局TEC指令室】	1班2人

※上記の内他地整応援状況（TEC司令部含む）

関東地整	益城町被災状況調査ほか	7班26人
中部地整	西原村被災状況調査ほか	6班21人
北陸地整	大津町被災状況調査ほか	5班20人
近畿地整	菊池市被災状況調査ほか	9班32人
中国地整	阿蘇市被災状況調査ほか	6班27人
四国地整	南阿蘇村被災状況道路調査ほか	5班25人

4. 防災ヘリの活動状況（4月18日17時00分時点）

○はるかぜ号

- ・4/16 被災状況調査 4名（整備局2名・国総研1名・土研1名） 8:31～10:06, 13:57～16:29
- ・4/17 南阿蘇村被災状況把握（整備局1名） 9:09～11:37, 13:02～15:08
- ・4/18 垂直撮影による被災状況調査 10:34～12:28
- ・4/19 竹田、産山村周辺の被災状況調査（整備局2名、国総研3名） 8:00～18:00

○愛らんど号

- ・4/16 被災状況調査 11:30～14:15 被災状況調査
- ・4/17 被災状況調査（局1名・本省1名・国総研1名・土研2名） 11:15～12:58, 15:10～16:05
- ・4/18 道路調査4名（整備局1名・土研3名） 8:35～10:10, 14:00～16:55
- ・4/19 被災状況調査（局1名・本省1名・国総研1名・土研2名） 13:39～16:00, 16:40～18:20

○北陸ヘリ

- ・4/16 被災状況調査5名（整備局1名・本省1名・国総研1名・土研2名） 11:02～17:15
- ・4/17 被災状況調査 16:39～17:55
- ・4/18 砂防調査3名 8:22～18:20

5. ドローン活動状況

TEC-FORCE協定業者とドローンによる上空調査を実施。

【南阿蘇村】被災状況上空調査を2班8人体制で実施

6. 災害対策機器現地派遣状況（19日14時00分）

○照明車 36台（役場、被災現場等30台）

- ・市町村支援（役場：嘉島、大津、益城、南阿蘇2、宇土市）計6台
- ・運動公園等（益城総合2、熊本県民総合3、グランメッセ）計5台
- ・被災復旧現場等
（57号法面復旧現場・443号路面崩壊現場・緑川堤防復旧）計14台
- ・加勢川右岸 9K800 1台
- ・待機（阿蘇国道維持・道の駅大津・九枝6）計10台

※上記の内、他地整からの応援台数16台（近畿7、中国9）

○生活用水等 4台（南阿蘇村3台、九重町1）

- ・散水車（南阿蘇村）飲料水用3台・排水管清掃車（九重町）生活用水1台

○バックホウ 13台

- ・ロボQ（待機中：R57法面崩壊現場3台）・遠隔BH（待機中：R57法面崩壊現場1台）
- ・分組BH（待機中：R57法面崩壊現場1台、移動中：九州技術事務所10台）

○その他 5台（前線基地：グランメッセ熊本）

- ・情報収集車（稼働中：南阿蘇村）1台・待機支援車（待機中：グランメッセ熊本）1台
- ・対策本部車（稼働中：グランメッセ熊本1台、宇土市役所1台）
- ・橋梁点検車（稼働中：熊本市土木センター）1台

7. 防災通信機器派遣状況

○衛星通信車 4台派遣 内4台映像配信中

- ・市町村支援（益城町） 計1台（映像配信中）
 - ・復旧工事箇所（国道443号・国道57号被災箇所） 計2台（映像配信中）
 - ・復旧工事箇所（国道57号被災箇所） 計1台（移動中）
- ※19日以降、近畿地整、中部地整の衛星通信車と入れ替えて運用予定。

○Ku-SAT 3台派遣

- ・市長村支援（南阿蘇村役場） 1台（映像配信並びに受信）
- ・宇土市役所 1台（映像配信中）
- ・熊本河川国道緑川下流出張所 1台（待機中）

8. リエゾンによる被災自治体からの要望等への対応状況（19日18:00）

○被災地の調査等

○物資支援

・4月17日までの支援物資

飲料水2L×6,880本、カンパン等9,300食ブルーシート1,479枚、仮設トイレ53個

・4月18日 菊陽町 → 飲料水2L×2898本支援済

・4月19日 飲料水2L×7,012本、カンパン等660食、ブルーシート693枚、ブルーシートロール10本、仮設トイレ70個等が現地到着予定

○4月16日15時より、「海輝」、「海煌」により熊本港内フェリーターミナル近くにて、飲料水提供。

（累計 1,698人、37,800L ※4月19日16時現在）

○他地整からの緊急支援船運搬状況（4月19日17時現在）

・北陸地整

支援船 白山（飲料水 ペットボトル 約17,000本、食料、医薬品、衛生用品等）

新潟港 4/18 16時15分発 → 4/21 博多港入港予定

・中部地整

支援船 清龍丸（飲料水 ペットボトル 約14,000本、食料×約3,000食）

名古屋港 4/18 10時00分発 → 4/20 大分港入港予定

・近畿地整

支援船 はやたま（飲料水 ペットボトル 約500本 ブルーシート、断熱アルミシート等）

名古屋港 4/19 8時00分発 → 4/20 別府港入港予定

・中国地整

支援船 おんど2000（飲料水 ペットボトル 約1,500本）

呉港 4/18 7時50分発 → 14時15分 別府港着

支援船 りゅうせい（飲料水 ペットボトル300本、食料約2,000食）

広島港 4/18 14時00分発 → 16時40分 別府港着

・四国地整

支援船 いしづち（飲料水 ペットボトル×1,500本）

松山港 4/18 8時05分発 → 15時00分 別府港着

支援港 くるしま（飲料 水ペットボトル1,800本）

松山港 4/18 8時10分発 → 13時00分 別府港着

※陸送にて以下の市村に搬送

【搬送済】 大分県由布市

【搬送中】 熊本県阿蘇市南阿蘇村、西原村（大分県港湾建設協会の協力）

9. 国管理道路の情報

【通行止め区間】

○熊本県

- ・ 国道57号 阿蘇大橋地区斜面崩壊 [熊本河川国道]
　　<81k100付近 阿蘇郡南阿蘇村 土砂崩壊>
 - ・ 国道210号 日田市天瀬町大字合田～玖珠郡玖珠町大字戸畑 [大分河川国道]
　　<51k280付近～64k640付近>
- ※落石の感知センサーが異常を示し、落石の恐れがあるため

10. 所管施設の状況

(1) 国管理道路

1) 国道57号

- ・ 光ケーブル切断 (南阿蘇村 立野付近)
- ・ 阿蘇市永草 74k900付近上り 路面亀裂 応急復旧完了
- ・ 大津町引水 91k500付近 引水跨線橋 段差 応急復旧完了
- ・ 南阿蘇村立野付近 83k700付近 立野跨線橋 段差 応急復旧完了
- ・ 熊本市東区長嶺町 113k300付近 託麻跨道橋 段差 応急復旧完了
- ・ 熊本市東区御領 103k770付近 東原橋 橋梁損傷 規制必要なし
- ・ 熊本市東区神水本町 111k360付近 江津斎藤橋 段差 応急復旧完了

(2) 国管理河川

- ・ 緑川 堤防天端にクラック等を確認
- ・ 白川 堤防天端にクラック等を確認
- ・ 菊池川 堤防天端にクラック等を確認
　　いずれも応急対策は完了
- ・ 緑川ダム 舗装のひらき等を確認
　　応急対策は完了

(3) 港湾

管内の港湾については、熊本港において一部利用制限があるものの、他の港はほぼ通常通り利用可能となっている。

- ・ 熊本港 (熊本県) 島内の臨港道路・駐車場：段差があり、車の通行不可のため、迂回路を確保。応急復旧を4月19日から着手し、21日から通行可能となる予定。

(4) 空港

熊本空港 (熊本県) 空港基本施設 運用に支障なし。(但し、空港ビルディング 建築被害)
19日より一部運搬再開。

(5) 官庁施設

32の官庁施設について、被害を確認。

熊本市からの要請により、熊本地方合同庁舎A棟が熊本市の緊急避難施設に指定された。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部 広報班

電話:092-414-7301(本部直通) FAX :092-481-9210(本部直通)

【参 考】

リエゾン（災害対策現地情報連絡員）とは

フランス語で『組織間の連絡、連携』の意味。災害時に自治体との連携を密接に図るため、被災した自治体からの情報を待つのではなく、自治体へ直接派遣して被災情報を収集し、災害対策車の派遣など国から自治体への支援や復旧活動を迅速かつ円滑に行えるようにするもの。

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは

■目 的

TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的としたものです。

■主な任務

被災地方公共団体等が行う災害応急対策に対する技術的な支援を行います。

- ①被災状況の迅速な把握
- ②被害の発生及び拡大の防止
- ③被災地の早期復旧